



Shinkoh News

——川口新郷工業団地協同組合——



平成18年6月18日「あやめ祭り」 平成18年度第1回ゆうゆう会

第37期 通常総会

新電源の可能性を求めて

第一回ゆうゆう会

小林玖仁男さん本を著す 「節季の室礼」

山口喜代さん歌手デビュー

'06 JULY.70

発行日／平成18年7月27日 発行／川口新郷工業団地協同組合 発行責任者／石川義明 編集責任者／矢野剛

第三七期 通常総会

去る、平成十八年五月二十六日（金）午後五時より新工会館二階大会議室において、第二七期通常総会が組合員六七名（含む委任状提出三十名）の出席を得て開催された。

矢野総務委員長の司会により大西副理事長の開会のことば、続く石川理事長の挨拶がありました。矢野総務委員長による出席者報告並びに本総会成立宣言がなされ、議長として（株）川口鍛工所の石田昭氏を選出、議案審議が開始される。

平成十七年度事業・決算報告、平成十八年度事業計画・収支予算案等が上程され、久保木専務理事よりそれぞれ説明、審議のあと出席組合員全員の承認を得て原案通り全て可決されました。

また、矢野総務委員長より、定款改定ならびに役員選挙規約改定が上程され、審議の結果、上程どおり可決されました。久保木専務理事の閉会のことばにより、午後五時四五分閉会となりました。

石川理事長あいさつ



石田議長あいさつ



今年度各委員会の委員の方々、活動内容を紹介いたします。（新設

の会館改修特別委員会を除き、今年度は昨年度の委員と同様です。敬称略）

◆財務委員会

委員長 大西壯三郎
委員 石川 義明
久保木満江
矢野 剛
萩原 伸宜
萩山 孝夫
小林玖仁男
大槻 稔
伊藤 幸夫
岩崎 康彦

三役・常務理事で構成し、主として財務・金融事業について協議します。

◆総務委員会

委員長 矢野 剛
副委員長 伊藤 幸夫
委員 小林玖仁男
岩崎 康彦
森 敬介
石田 昭

①教育情報事業
組合員さんに有益な研修会・講演会等の開催、新工ニュース（年三回）・新工ミニニュース（随時）の発行による情報提供を行います。

②視察・親睦旅行の実施

年一度の組合全体での工業団地外での懇親の場でもあることから、楽しめる企画を行いたいと思っております。是非ご参加ください。

③新春祝賀会

例年どおり、一月下旬に行う予定です。

◆電力委員会

委員長 萩原 伸宜
副委員長 岩崎 康彦
委員 萩山 孝夫
小島 昭
小林 雪夫

①組合員さんへのお願い
東京電力（株）との契約電力に関し、ピーク電力は超過傾向にあるので、電気需要逼迫時には省エネルギーに対するご理解とご協力をお願いいたします。

雷・雪等の自然災害や事故等で停電あるいは瞬時停電が発生する事が考えられますので、重要生産設備・コンピュータ施設等を有する事業所は、「無停電電源装置」の設置等による自己防衛をお願いいたします。

今年度の計画停電は、実施いたしません

十七年度において、精密点検を実施した結果、十八年度の実施は見送りしました。翌年度は実施する予定でございます。その際には、組合員の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

②新電源調査
電気事業の将来を考え、新しい電源等の調査、研究を行います。昨年度の実績を本号で報告しております。

◆事業委員会

委員長 萩山 孝夫
副委員長 大槻 稔
委員 萩原 伸宜
伊藤 幸夫
石田 昭
渋谷 幹夫

①業務事業

- 共同駐車場
- 高速道路通行料金別納制度
- ガソリン等販売の斡旋
- 車検整備の斡旋
- 川口自動車整備協業組合を委託先としております。
- 二階会議室の貸し出し
- 有料にて、組合員・組合員以外の方に貸し出してあります。お申出の節は事前に事務局へご連絡ください。

（収容人員一〇〇人位まで）

・その他

郵便切手（各種ハガキを含む）、収入印紙類、タバコ、中元・歳暮用ハム製品の斡旋など未加入・未利用の組合員さん、どうぞご利用ください。

②集団健康診断

例年どおり新工会館内で実施。十月四日（水）一般検診

③除細動器（AED）の導入

万が一の不慮の事故に備え、素早い救命活動を行うため、除細動器を導入します。また、その講習会を実施します。

④諸行事の実施

・ポーリング大会
今年度も昨年度同様二回の実施を予定。第一回は九月一日に開催いたします。多数の皆様のご参加を願います。

・ゆうゆう会

平成十三年坂東札所めぐりの会として発足した親睦会を「ゆうゆう会」と命名し、札所めぐりを含めた懇親活動を年に二回ほど実施していきます。六月十八日に第一回目を開催、本号で報告しております。

◆企画委員会

委員長 小林玖仁男

副委員長 斎藤 博司
委員 矢野 剛
大槻 稔
富澤 正之

①ゆうゆう歩道の整備として、昨年度は、南側入口二カ所にメイナーチおよび説明看板を設置、今年度は北側入口に同様のものを検討のうえ設置します。

②江戸袋地区に新規の組合員事業所配置図を設けます。その他組合員、組合にとつて有益な事業の開発を図ります。

◆会館改修特別委員会

委員長 大西壯三郎
副委員長 久保木満江
委員 石川 義明
矢野 剛
萩原 伸宜
萩山 孝夫
小林玖仁男
伊藤 幸夫
岩崎 康彦
森 敬介
石田 昭
森 行世

専門家
今年度において、新設した委員会です。

新工会館は、昭和五十三年に竣工、築二八年を経過しており、建物の老朽化や汚れが目立ってきて

おり、その修繕の必要性に迫られていること、また、組合員にとつて利用しやすいよう改装することを経営的、長期的な観点から検討していくことを目的とします。具体的には、修理・改装箇所を洗い出し、その必要性・度合いに応じて優先順位をつけていく作業を行います。その結果如何によって今年度実施を提言したいと考えています。

◎なお、今年度も、前年度に引き続き委員会特別事業費を計上いたしました。

これは、各委員会での活動に対し、時期・内容が予算設定時未定・未確定な活動に対処すべく設定したものです。各委員会において組合員ならびに組合にとつて有益な事業を展開いたします。



十八年度ブロック長の紹介 (敬称略)

Aブロック

○(株)テクノスセキグチ
社長 関口生寿老

Bブロック

○(有)イズミ化成
社長 樋口 矩男

Cブロック

(前期)
○ディーゼルユニット(株)
社長 持地 則雄
(後期)
○(株)御法川工場
社長 久保木 勇

Dブロック

○ユニオングラビア(株)
社長 酒井 綾子

青年研究会より

会長 矢野 剛

うつつししかった梅雨もようやく明け、夏本番を迎えました。親組合の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究会は「次世代の組合に有益な人材を育てる」という目的の下、(株)川口鍛工所 現会長である石田昭様が創設されました。昭和六十三年八月のこととお伺いしております。

ご存じの通り、私たち会員は、日頃より和気あいあいとコミュニケーションを図っておりますが、本年度は他団体との交流を推進すべく、市内各青年部会長、代表をお招きし、エクシブ那須白河において第一九回通常総会を開催し、無事終える事が出来ました。来年度は第二〇期、そしていよいよ二〇周年を迎えることとなります。これもひとえに創設にご尽力いただいた石田様はじめ、歴代理事長、組合員の皆様のご厚情の賜と、深く感謝いたしております。

本年度の事業内容としては、親組合電力委員会、企画委員会と協力し、新電源の調査や新しい工業団地のあり方などを、共に考えていきたいと思っております。また、前期より引き続き教材を使用した勉強

会を開催します。納涼会、家族会など楽しい企画もありますので、興味のある方、入会ご希望の方は是非事務局増島まで、お気軽にご連絡ください。

家族会の実施について

平成十八年六月十八日に恒例の家族会を開催しました。

「ホテル観賞の夕べ」

場所 椿山荘
時間 午後六時三十分～
午後八時三十分
参加者 六会員 三四名
大人 二五人
子供 九人



「リリアズパッションクラブ」からのメッセーシジ第二弾

会長 森 敬介
(当組合前理事長)

○同クラブの趣旨
リリアにおける文化活動を支援し、市民文化の普及、向上を促進するとともに将来を嘱望され

る若手演奏家グループの演奏活動を支援する団体です。現在の会員数 百二十三社

○活動内容

▽リリアの主催するコンサート等のチケットの優先購入。

▽若手音楽家のコンサートの開催や協力。

▽会員向けディナーコンサートの開催。

ちなみに、六月十六日ジャズシンガー「奥土居美可」さんを迎えて、百人の会員並びに入会申込者が、リラックスしたジャズコンサートを楽しましました。



○同会の趣旨・活動にご賛同くださる方を募集しております。

年会費 一企業一万円

入会のご連絡は組合事務局へお願いいたします。

電話 048-285-1766

見学報告

新電源の可能性を求めて



電力委員会では過去にはグリーン電力基金を基に太陽光発電を利用した団地内の街灯の照明を検討をするなど新しい電源の調査を行っております。今回は青年研究会と伴に中部電力が実験を行っているスターリングエンジンの調査と東京電力の電気の史料館の視察見学を主目的として、二月二十四、二十五日(金・土)で視察調査を実施しました。

中部電力ではスターリングエンジンと愛知万博で使用されたのと同様の溶融炭酸ガス燃料電池(M

CFC)を視察しました。両方ともバイオマスの利用が可能であり、環境にやさしい発電設備と考えられます。

スターリングエンジンはシリンダー内で燃焼をするのではなく、シリンダーの外部を加熱・冷却させてピストン運動を起こすことから、間伐採や農業廃棄物の焼却熱を利用できるなど熱源を選ばない利点があります。また、一般のエンジン発電機よりコンパクト化されており、省スペースに数台を設置して発電することも可能になります。ただかなりの騒音が発生しますので、防音設備が必要になると共に間伐採などのバイオマ

ス燃料の輸送費や保管場所と粉末化・焼却施設を用意する費用が発生します。

溶融炭酸ガス燃料電池(MFC)は化学反応により発電することから、バイオマスや廃プラスチックをガス化することにより燃料とすることが出来る利点があります。また、約650℃で作動するので、スターリングエンジンの廃熱を利用することが出来るとも考えられます。

燃料の原料となる物が廃材・廃プラスチックなどの廃棄物利用が可能なので、燃料の購入費が安く済み、今世界が求めている環境に優しい発電装置であります。課題

としては、スターリングエンジンと同じくバイオマスや廃プラスチックの輸送費や保管場所とガス化装置等の付帯設備が必要となることです。

翌日は名古屋から横浜市鶴見区の東京電力技術開発研究所の電気の史料館へ。初期の発電機やモーターから現代に至るまでの電気施設や設備の進歩と技術の発展の視察をおこないました。

電気の歴史とその時々素材や技術レベルが展示されていて、当時使われていた諸設備と現在の素材や技術とを見比べてみることで技術レベルの推移と発展が確認でき、有意義な視察となりました。

(萩原)



スターリングエンジン発電機



溶融炭酸ガス燃料電池



中部電力での説明会

第一回ゆうゆう会
—アヤマ祭りと香取神宮—
成田山参拝—

有志の集まりである札所巡りの会の今後は話し合った結果、組合の福利厚生事業の一環として、名称を「ゆうゆう会」とし、札所巡りを含め楽しく、より見聞を深める会として広く組合員に参加を求める事となり、今回第一回目の「アヤマ祭り」と香取神宮・成田山新勝寺参拝」を企画、参加者を募集いたしました所、応募者二十三名にて去る六月十八日(日)に実施いたしました。

当日は、前日の天気予報で雨との事でしたが何とか天気も持ち曇り空での出発となった。

早朝六時三十分出発との事もあり順調にバスは進み、定刻八時三十分前に佐原水生植物園着、前の与田浦より三艘のサツパ船に分乗、潮来のアヤマ園と十二橋を水上より見学の後、船頭さんが竿で操る佐原の加藤州十二橋めぐりを楽しみました。

下船後、約六ヘクタールの園内に四百種百五十万本が咲き乱れる水生植物園を散策、雨上がりの水滴に濡れたアヤマ・ハナショウブを満喫し、昼食場所である割烹旅館「水楽荘」へ、昼食は郷土料理である川魚料理で鯉や鰻料理に舌

鼓を打ちつつ食事を終えると時間は午後一時三十分を過ぎて午前中は持った天気も雨が降り始めており、香取神宮参拝を諦め成田山に向かうことに決し水郷佐原を後にいたしました。

バスを進めるうちに雨脚も強くなる中成田山着、急な石段を登り仁王門をくぐると広大な敷地に雄大な本堂が聳えており、参加者それぞれが祈願し帰路へ、帰りの高速道路も順調に流れほぼ定刻通りの午後五時に新工会館に到着、次回を年度内に行うこととし、企画を大槻副委員長・石田昭さんにお願ひすることに決し解散となった。

最後に、今回水郷佐原にてアヤマ鑑賞ということで久保木専務理事には企画段階よりご紹介・お手配等いただきましたことにお礼を申し上げて終わりにいたします。

(荻山)



成田山新勝寺



祭りとサツパ船



佐原水生植物園にて

ボーリング大会報告

(17年度第二回)

平成十八年三月三日、新郷グラウンドボールにて、参加者七二名、十八チームで実施、石川理事長のあいさつ・始球式のあと二ゲームでの熱戦を繰り広げました。

◎団体賞(敬称略)

順位	チーム名	1G	2G	計	HP	合計
①	石川金属機工 B	584	730	1314	20	1354
②	川口鍛工所 B	599	634	1233		1233
③	川口鍛工所 A	567	524	1091	50	1191
4	ギャーズ	578	590	1168		1168
5	粉末機械工業	586	558	1144	10	1164
6	埼玉ニューハーフ	527	519	1046	40	1126
⑦	モリチュウミドル	483	550	1033	40	1113
8	精研クローム工業所	555	534	1089	10	1109
9	杓屋チーム	488	477	965	40	1045
10	川口板金	462	574	1036		1036
11	石川金属機工C	469	482	951	40	1031
12	モリチュウシニア	456	474	930	50	1030
13	茂呂製作所	510	487	997	10	1017
14	石川金属機工 A	388	359	747	120	987
15	イズミ化成	476	471	947	10	967
16	明光社	472	459	931		931
①⑦	中原建設	389	419	808		808
18	岩宗鋳造所	289	270	559		559

◎個人賞の皆様(敬称略)

優勝	佐藤 勝志
準優勝	片野 照光
三位	石井 一夫
四位	小室 浩
五位	越野 義哲
六位	杉久 昭夫
七位	三村 洋介
八位	内野智恵子
九位	増島 邦夫
十位	单天成
十一位	別所 豊

◎団体賞(敬称略)

優勝	石川金属機工 B
準優勝	川口鍛工所 B
三位	川口鍛工所 A
七位	モリチュウミドル
ブービー	中原建設

各チームの成績は次のとおり



小林玖仁男さん本を著す

(常務理事、南コクサイセイフテイ)

著書名「節季の室礼」

北浦和で国の登録有形文化財である「二木屋」(会席料理、主人小林玖仁男)を舞台に日本料理と和の暮らし、歳時を、カラー写真に移して華麗にちりばめた格調高い二百四十頁の本です。

「節季の室礼」

一月から十二月と四季折々の歳時を、庭を含めた二木屋全体で表現しています。

一月	初月	人日の節句
二月	梅月	節分
三月	桃月	上巳の節句
四月	花月	花祭り
五月	早苗月	端午の節句
六月	田草月	梅雨の頃
七月	愛逢月	七夕の節句
八月	木染月	夏祭り
九月	菊月	重陽の節句
十月	神在月	新能
十一月	神楽月	七福神
十二月	聖月	クリスマス

中でも二木屋さんの二大歳時は、歴代の雛が華やかに登場する桃の節句と庭に能舞台を造っての新能です。もちろん、各季節の日本料理は、おいしさそのまま写真にし

て挿入されています。

「二木屋を訪れて」

大女優 岸田今日子さんと各部屋での納まりのよさ、しっとり感が印象的です。

十一人の各方面の専門家や達人からの二木屋に関する寄稿文の掲載。

「八人の読者の皆様へ」

主人小林玖仁男氏の二木屋経営に当たっての真情を吐露しています。

以上、目次から概要をピックアップ、内容の濃い、力作の一冊です。本を片手に二木屋さんでの四季折々の料理と室礼を楽しむのも一興ではないでしょうか。



「亨保雛」(江戸後期)



新能

表彰式、大西副理事長の閉会のあいさつにより和気あいあいと盛会のうちに終了しました。



投稿 ガイド嬢に 教えられた英語

カナダを訪れた際、山や氷河に関する素晴らしい知識で丁寧な案内をしてくれた若い日本人ガイド嬢が言った言葉が観光案内とともに何よりの土産になったような気がしましたのでご紹介します。K子さんと言う未だ二十歳代の若い人ですが、ガイドを職業としているとのこと。

「皆さん、せっかく一万キロも離れた外国へ来たのですから、三つの単語だけでも覚えて帰ってください」と言いました。何か難しい言葉かと待っていると、

「サンキュウ」

「エキスキューズ・ミー」

「プリーズ」の三つでした。

「サンキュウ」はちよつとした細かいことでもして貰ったら、直ぐに軽くいいから言ってください。更にその後相手の名前をつければなお親近感が増します。日本流にいうと「どうも」ですかね。

「エキスキューズ・ミー」は日本人は「アイム・ソーリー」と混同しがちですが、「アイム・ソーリー」は自分に責任がある場合の表現で、安易にこれを使うことは好ましくありません。話をするときの

きつかけ等には「エキスキューズ・ミー」を使うと良いでしょう。日本流にいうと「ちよつと失礼」ぐらいでしょうか。

「プリーズ」は何かを頼んだ場合に、必ずこれをつけると優しく受け取ってもらえます。

日本人は単語を並べるだけで用が足りると思われる人が多いようですが、「コーヒー」とか「ビアー」とか言いっぱなしになるときつく聞こえるので、後に「プリーズ」を付けると、命令調でなく「どうぞ」と柔らかく受け取ってもらえます。日本流にいうと「お願い」でしょうか。

この三つの単語を十分に使って旅をして頂くと、本当に楽しい旅が出来ること請け合いですし、トラブルになる確率も少ないでしょうね。

良い思い出を沢山つくってお帰りください。

或る書より (A・I)



山口喜代さん歌手デビュー

(当組合元役員、(株)山口熱処理工業所)



—きつかけは?—

会社での忘年会や旅行などで、カラオケを歌っていました。もつと声が出るようにと平成五、六年頃カラオケ教室へ通い始めました。平成十一年頃、駅前そごうの前で理事長(当時)の森さんにばったり行き会いシャンソン歌手の長瀬ゆきさんのお店を紹介されました。以後、長瀬さんを先生として師事、ボイストレーニング・音符の読み方から始め、ボイストレーニングには先生に認められるまで五年かかりました。

その頃から、先生の前唄としてステージへ上がるようになり、昨年の秋から先生のお墨付きをいただき独立しました。

—現在のライブ活動は?—

次の三カ所が拠点です。

「ざいま」

川口市、月二回

「テコローテ」

赤羽 月一回

「Qui」シャンソニエ(き)

新宿 月一回

—今のご心境は?—

もともと、シャンソンが好きだったみたい。好きなことだから、楽しいから夢を持っていつまでも若々しく、また聴く方に少しでも楽しくなっていたらいいと思っております。

シャンソンに出会えたことに感謝しています。



ライブを終えて



「ざいま」のママと